



2023年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ディ・アイ・システム
代 表 者 名 代表取締役会長 長田 光博
(コード番号：4421 東証スタンダード)
問い合わせ先 取締役経営企画本部長 大塚 豊
(T E L . 0 3 - 6 8 2 1 - 6 1 2 2)

中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）策定に関するお知らせ

当社は、持続的な成長及び企業価値向上のために、2024年9月期から2026年9月期までの3カ年を対象とした中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

株主様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、本中期経営計画の目標達成に総力をあげて取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

※本資料には、当社の将来における売上高・利益等の業績に関わる計画や見通しが含まれております。これらは、当社が現時点で把握、入手可能な情報からの判断及び想定に基づく見通しを前提としており、実際の業績等は大きく異なる場合があることを予めご了承ください。

以 上

D.I.System

中期経営計画

2024年9月期～2026年9月期

株式会社ディ・アイ・システム
2023年11月14日

東証スタンダード | 証券コード：4421



Index

目次

1 前中期経営計画の振り返り

- 前中期経営計画（2021年9月期～2023年9月期）の振り返り
- 外部環境に対する認識

2 新中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）

- 中期経営計画基本方針
- Vision2028とは
- 経営数値目標
- 事業戦略 システムインテグレーション事業
- 事業戦略 教育サービス・セキュリティソリューション事業
- 投資戦略
- 人材戦略
- サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）
- 株主還元方針

3 Appendix

1

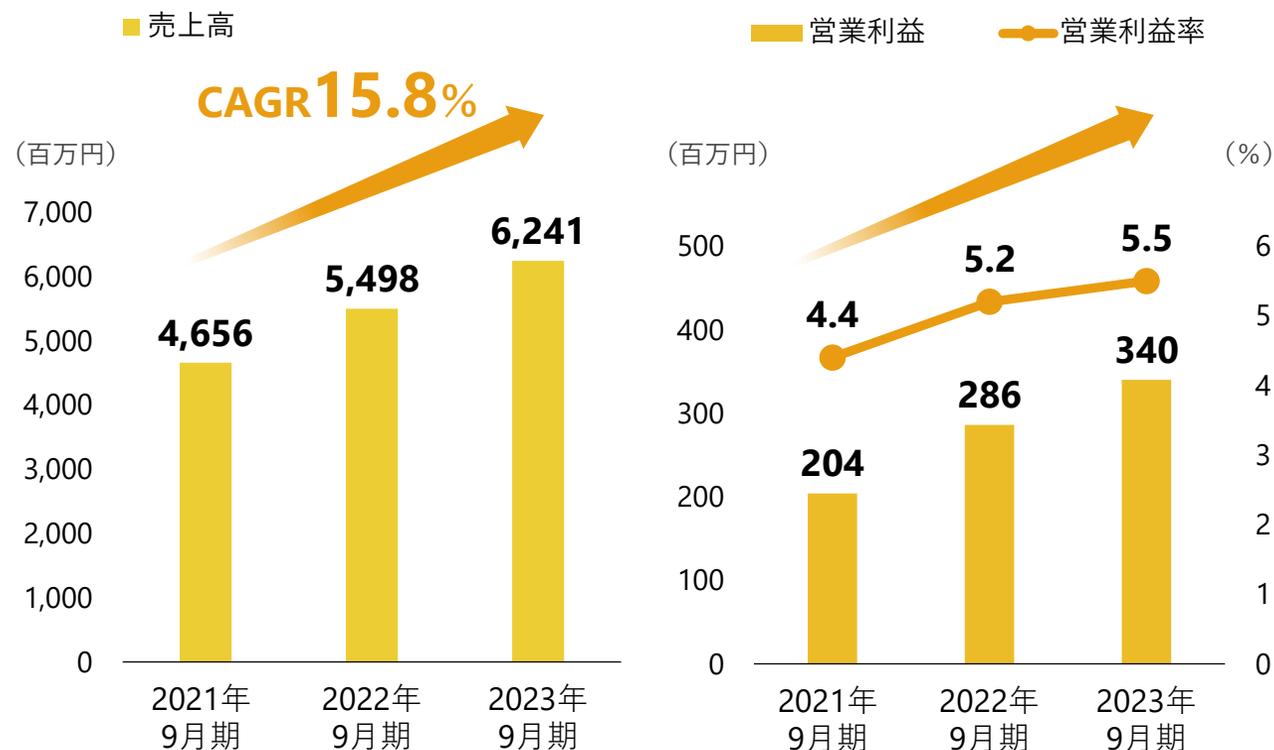
前中期経営計画の振り返り

前中期経営計画（2021年9月期～2023年9月期）の振り返り

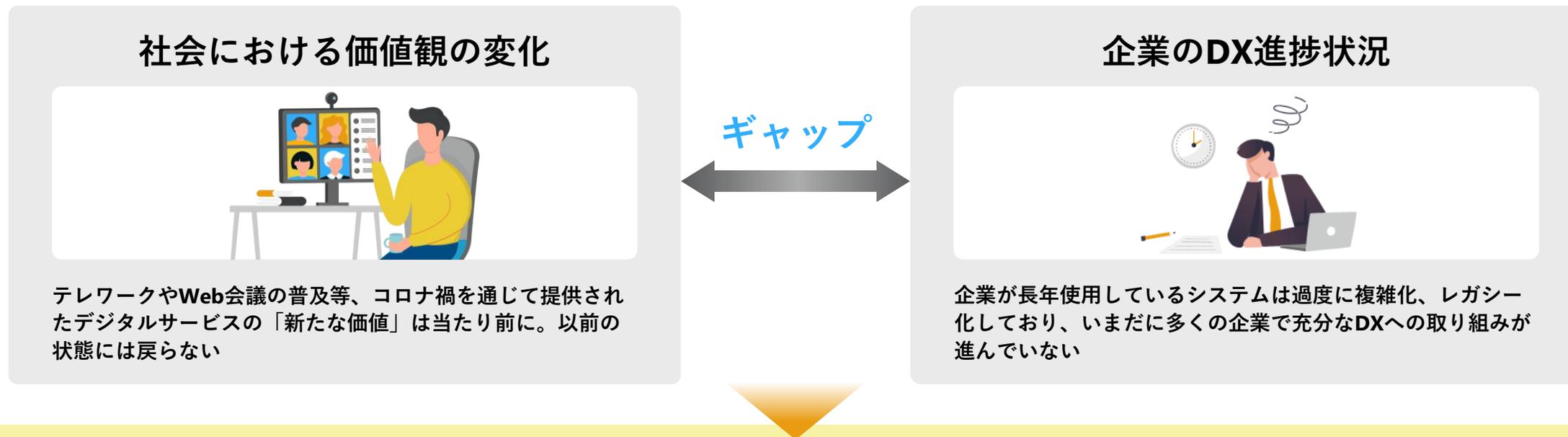
- 前中期経営計画（2021年9月期～2023年9月期）では、人材の確保及び育成、キーワード（巣ごもり需要、脱ハンコ、リモートワーク等）に応じたIT技術の提供、内部管理体制の強化等を経営方針とし、ポストコロナを見据えた市場ニーズを享受できる体制づくりを積極的に遂行。計画期間中に2件のM&Aを実施。連結子会社は3社となり、事業規模の拡大を実現
- 最終年度において、売上高は僅かに計画値に届かなかったものの、過去最高を更新。営業利益についても過去最高を更新し、計画比では0.6%増、営業利益率は計画比0.2ptプラスで着地。ROEは20.8%となり、4期連続での上昇となった

経営指標の推移

(百万円)	2023年9月期 計画	2023年9月期 実績	計画比
売上高	6,407	6,241	▲2.6%
営業利益	338	340	+0.6%
営業利益率	5.3%	5.5%	+0.2pt
ROE	—	20.8%	—



社会における価値観の変化に対し、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）の進捗は充分ではなく、DXソリューションを提供する私たちIT企業の役割はますます重要になっていくことが予想される



DXへの取り組みは「ITシステム刷新」から「企業文化刷新」の問題へと移行

DXマーケットはさらに拡大

経済産業省は「2025年の崖」問題を提起し、2030年にDX推進等を通じて実質GDP130兆円の押上げを目指している

- 2025年までにDX等によってシステムの刷新ができなければ、以降最大で年12兆円の経済損失が生じる可能性
- 経済産業省はこの事態を防ぐべくDXを含めたシステムの刷新を推進、今後DX・ICTの需要は加速する見込み

2

新中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）

経営理念

コンピュータ関連業務を通じて無限の夢を創造する、無限の夢を実現する

中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）基本方針

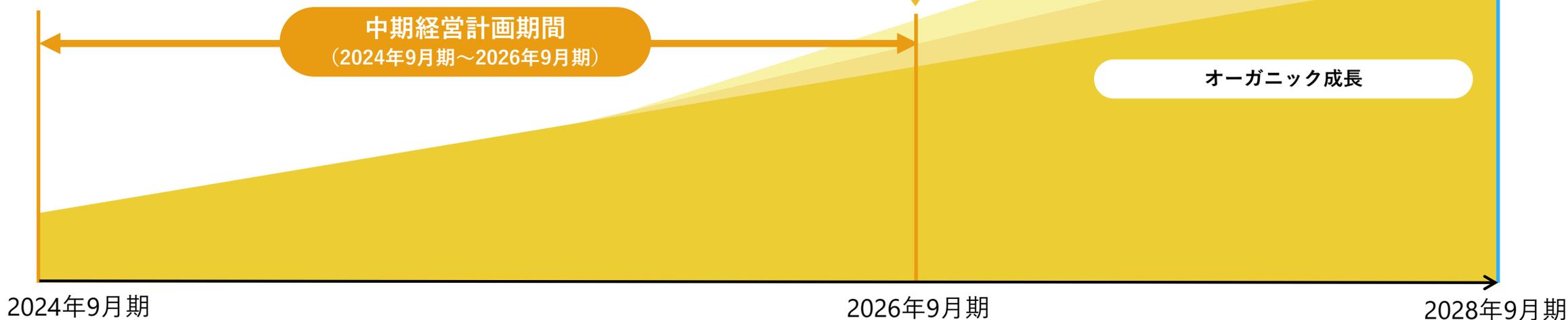
「**Vision2028***」を見据え、新たな分野への挑戦により
持続的な企業成長と社会貢献の両立を実現する

- ✓ **ビジネスモデルを**変革し、顧客と共にDXを実現するパートナーへ
- ✓ **DX推進を**加速させるための**デジタル人材育成支援**
- ✓ **セキュリティソリューションの**拡充と**セキュリティ人材の**育成を強化し、**DXを取り巻くセキュリティ課題の**解決に貢献
- ✓ 「**Vision2028**」を見据え、更なる企業成長および**経営基盤強化**のための積極的な戦略投資の実施
- ✓ 新しい技術に対応し、変化し続けることができる**人材の**育成
- ✓ 社員の多様性や個性を尊重し、安心して、**いきいきと働ける**職場環境の整備

Vision2028とは

- 中長期ビジョンとして「**Vision2028**（2028年9月期目標：売上高100億円・営業利益10億円）」を設定
- 「**Vision2028**」実現の礎として「中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）」を策定し強固な経営基盤の確立と「**変革**」を遂行していく

- ▶ 継続して**10%以上**の成長（オーガニック成長）
- ▶ 売上高100億円・営業利益10億円の早期実現に向けた**戦略的M&A**の推進（インオーガニック成長）
- ▶ **自社サービス・自社製品の拡充**による利益率の上昇
- ▶ **売上総利益率の上昇**
※2026年9月期計画：21.3% ⇒ 2028年9月期計画：24.5%
- ▶ **販管費率の改善**
※2026年9月期計画：15.5% ⇒ 2028年9月期計画：14.5%



Vision2028

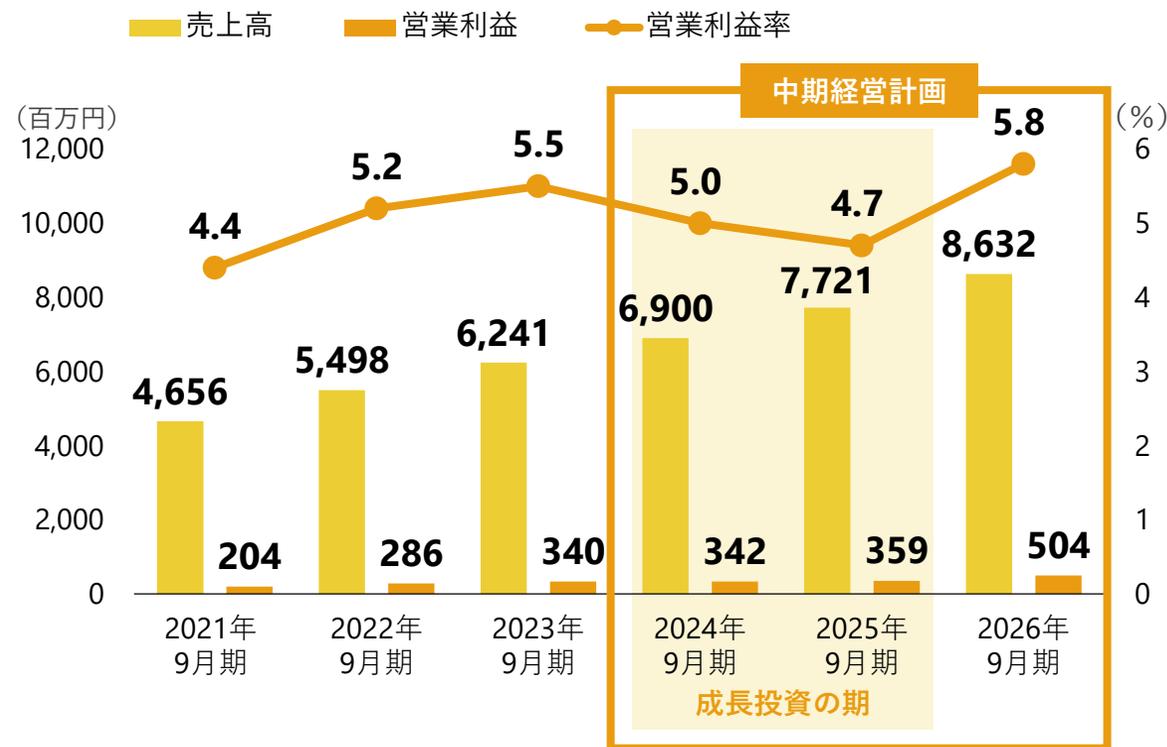
経営数値目標

- 中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）では、最終年度において、売上高86.3億円、営業利益5.0億円、営業利益率5.8%の達成を目指す
- 2024年9月期及び2025年9月期においては、**自社サービス・自社製品開発投資、本社増床移転、社員の待遇面向上等、更なる企業成長のための投資を予定している**ことから営業利益率は僅かに落ち込む予想だが、2026年9月期には5.8%まで改善見込み。売上総利益率の上昇及び販管費率の改善に向けた施策を実施していくことで、「Vision2028」に掲げる営業利益率10.0%の達成を目指す

中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）

(百万円)	2024年 9月期	2025年 9月期	2026年 9月期
売上高	6,900	7,721	8,632
営業利益	342	359	504
営業利益率	5.0%	4.7%	5.8%

前計画からの経営推移



基本方針

ビジネスモデルを変革し、顧客と共にDXを実現するパートナーへ

事業戦略

1 有望な分野での元請け案件の拡大

- 今後の発展が見込める分野を中心に元請け案件の獲得を強化
- セグメント売上高の元請け比率**30%以上**を目指す



2 新しい技術分野への進出

- 生成系AI（ChatGPT・Bard・Bing）の活用
 - 仮想空間ビジネス
 - 新技術対応を強化し利益率の高い受託案件の獲得を拡大
- セグメント売上高の受託案件比率**10%UP**を目指す
※受託案件**40%**：常駐ビジネス案件**60%**の割合へ！



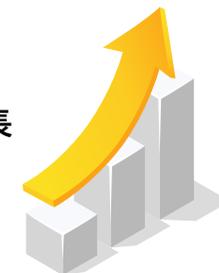
3 コンサルティングやPM※層の更なる強化

- 顧客のビジネス領域に踏み込んだDX共創
顧客と二人三脚でDXを成し遂げる



4 品質へのこだわり・顧客満足度の向上

- 品質管理専門組織の構築
- 顧客満足度向上＝企業ブランドの向上・企業の持続的成長



基本方針

DX推進を加速させるためのデジタル人材育成支援

事業戦略

1 リスキング／デジタル人材育成への取り組み

- 経営や業務に適用できる生成系AIを始めとする最新技術の研修提供
- 非IT企業への特定のニーズに合わせた研修とサポートの提供
- 国が進めるリスキングのための助成金を活用した研修の提供



2 生成系AIへの取り組み

- 生成系AIを活用した効果的な学習環境の提供
- 生成系AIを実務で活用できるプロンプターの育成支援
- 多種多様な生成系AIに対応（ChatGPT・Bard・Bing）



3 不足するITエンジニアの育成

- プロジェクトで早期に活躍できる新人エンジニアの育成
- システムインテグレーション事業で培ったノウハウを活かしたプロジェクトマネージャー研修の開発と提供
- プロジェクトで発生するトラブルシューティングなどの高度で実践的な知識を身に付ける研修提供



4 システムインテグレーション事業とのコラボレーション

- 仮想空間（メタバース）上での新しい学習体験の場を提供
- 自社開発によるデジタル人材適正診断ツールの提供
- 適性診断ツールを活用した研修の提供



基本方針

セキュリティソリューションの拡充とセキュリティ人材の育成を強化し、DXを取り巻くセキュリティ課題の解決に貢献

事業戦略

1 「WEEDS Trace※」を中心としたセキュリティソリューションの拡充

- 「WEEDS Trace」の機能追加・拡張
- 他社セキュリティ商材とのコラボレーション



2 DXを取り巻くセキュリティ課題の解決

- 重要度が増している個人情報保護のためのセキュリティソリューション提供
- デジタル化が進む企業データの情報漏洩対策
- 巧妙化する標的型攻撃メールの被害防止対策
- いつでも、どこからでも、安全にアクセスできるITインフラの提供



3 多様化するセキュリティ人材の育成

- システムインテグレーション事業で培ったセキュリティ人材の更なる育成強化
- サイバーセキュリティにおける事業リスクをマネジメントできる人材の育成



基本方針

「Vision2028」を見据え、更なる企業成長および経営基盤強化のための積極的な戦略投資の実施

投資戦略

1 規模への投資

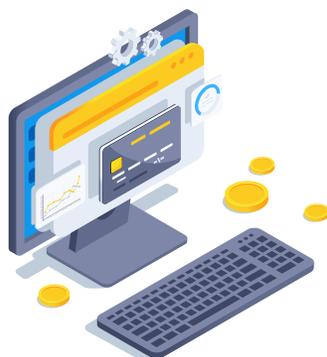
- **本社増床移転の実施**（2025年9月期予定） **73**百万円
 - ・グループシナジーの創出
 - ・顧客の多様なニーズへの柔軟な対応
 - ・積極的な採用の継続
 - ・オフィス機能の変化＝「働く場所」から「集まる場所」へ

- **M&A投資**
 - ・「Vision2028」の早期達成に向けた積極的なM&Aの実施
- **社内IT投資**
 - ・ソフトウェアスイートの更新
- **新規エリアの拠点開拓**
 - ・デジタル技術を通じて地域・自治体の活性化へ貢献
 - ・働く場所の選択・多様化



2 技術への投資

- **研究開発**（自社サービス・自社製品の投資） **180**百万円
 - ・セキュリティソリューション
 - ・デジタル人材適正診断ツール
 - ・AIを始めとした新技術



3 人への投資

- **福利厚生を含めた待遇面の更なる向上**
- **管理部門の強化**



基本方針

- 新しい技術に対応し、変化し続けることができる人材の育成
- 社員の多様性や個性を尊重し、安心して、いきいきと働ける職場環境の整備

人材戦略

1 社員のアップスキリング

- 多様な人材の採用・育成の強化
- 教育サービス部門と連携した社内研修制度の強化
 - ・eラーニングコンテンツ（IT基礎、インフラ基礎、システム開発体験、ビジネススキル等）
 - ・生成系AI研修（ChatGPT研修、Bard／Bing研修）
 - ・プロジェクトマネージャー育成研修
 - ・階層別研修（1年次研修、3年次研修、主任・係長研修、管理職研修）



2 社員満足度の向上

- ホワイト認証の取得
- 評価制度の再構築
- 社員の「声」を聴く仕組みづくり
- 産休・育休を取得しやすい環境整備



3 リアルにとらわれない柔軟な働き方の推進

- 仮想空間や生成AIなどのデジタル技術を活かした働き方の実現
- ワークスタイル変革の推進
- オフィス環境整備



4 健康マネジメント

- ワークライフバランスの実現
 - 健康診断受診率100%※の継続
- ※受診対象期間中の休職者を除く



基本方針

事業活動を通じてステークホルダー（お客様、ビジネスパートナー、地域社会、株主・投資家、社員）の信頼・期待に応え、当社グループの企業価値を高めるとともに、持続可能で豊かな社会の実現に向けて貢献していく

1



安心・安全で
便利な社会の実現に貢献

- デジタル技術を通じて、人々が安心・安全に生きていくための社会課題解決に貢献
- 気候変動リスク対応として、環境負荷低減を設計思想としたシステム開発の継続
- 情報セキュリティ・個人情報保護の取り組み継続

2



イノベーション・共創を通じ
豊かな社会の実現に貢献

- デジタル技術を通じて、社会課題を抱える地域・自治体の活性化へ貢献
- 顧客のニーズに対応する高品質なシステム・製品・サービスの提供
- DX推進のサポート

3



多様な人材がいきいきと
活躍できる社会の実現に貢献

- 先進技術に対応できる人材の育成と多様性の尊重
- 従業員の健康増進
- ワークスタイル変革の推進

4



健全な企業経営の維持・強化

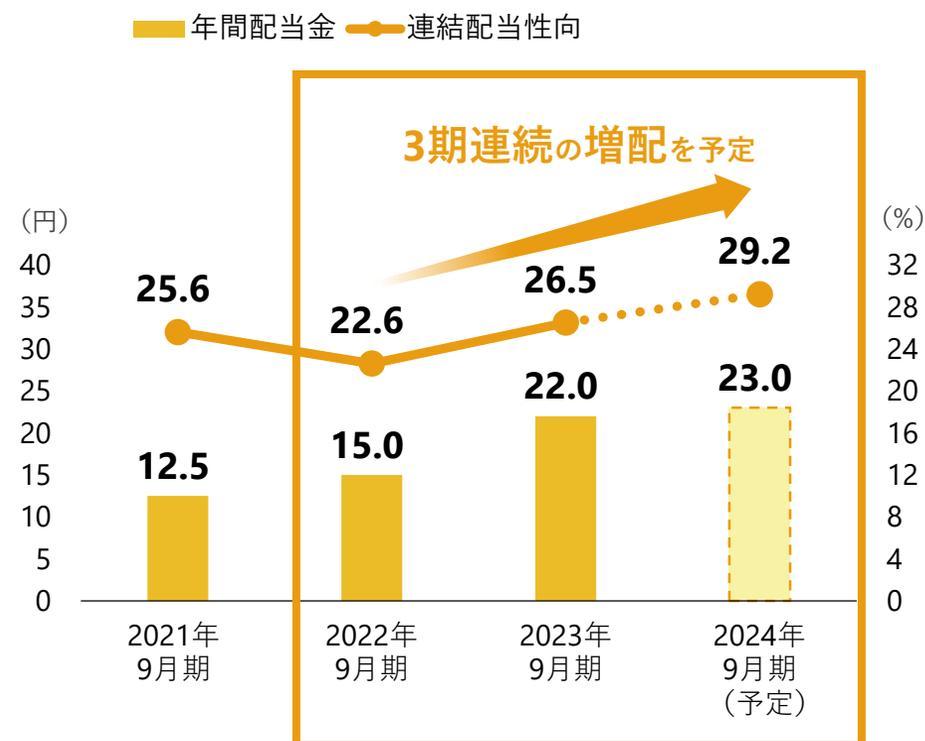
- 透明性の高いガバナンス体制の堅持
- リスクマネジメントの強化

株主還元方針

- 将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保する一方で、長期的で安定した配当を継続していくことが当社配当方針の基本。連結配当性向25%~30%を目指した安定的な配当を維持していくことが目標
- 配当金の金額は、経営環境の変化に対応しながら企業価値を高めていけるよう、必要な領域や人材への投資戦略を鑑みつつ、できる限り株主の皆様への利益拡大の視点を持って決定していく

配当金推移

	実績			予定
	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
年間1株当たりの配当金	12円50銭	15円00銭	22円00銭	23円00銭
連結配当性向	25.6%	22.6%	26.5%	29.2%
株主資本配当率 (DOE)	3.7%	4.2%	5.4%	4.9%



3

Appendix

システムインテグレーション事業と教育サービス・セキュリティソリューション事業を展開する

独立系システムインテグレーター



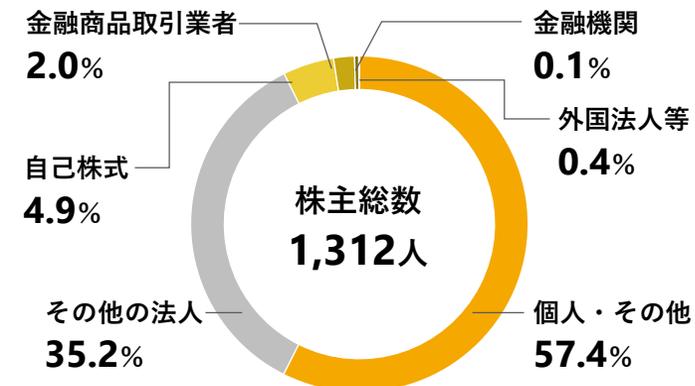
代表取締役会長
長田 光博



代表取締役社長
富田 健太郎

会社名	株式会社ディ・アイ・システム
設立	1997年11月5日
所在地	東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト2F
事業内容	業務用アプリケーションの設計開発業務、インフラシステムの設計構築業務 運用・保守業務、セキュリティ製品開発・販売業務、IT教育サービス業務
セグメント	システムインテグレーション事業 教育サービス・セキュリティソリューション事業
連結従業員数	723名（2023年10月時点）※契約社員含む
拠点	東京、大阪、名古屋、横浜、静岡、福岡
資本金	291,390,000円
関連会社	アスリーブレインズ株式会社 株式会社ステップコム ウイズ・システムズ株式会社
上場日	2018年10月19日

所有者別株式分布（2023年9月30日時点）



顧客のニーズに合わせて、システム設計・開発からITインフラ設計・構築、IT研修、セキュリティ対策まで、幅広いITソリューションを提供

D.I.System



システムインテグレーション事業

業務システムの設計・開発

- 業務支援システム
- ワークフローシステム
- eラーニングシステム
- モバイルアプリケーション 等

ITインフラの設計・構築

- 社内ネットワーク
- クラウド基盤
- 無線LAN
- セキュリティ基盤 等

運用・保守

- システムの運用監視
- データ入力・解析
- 保守開発
- 機器メンテナンス 等



教育サービス・セキュリティソリューション事業

教育サービス

新入社員向けIT研修/中堅技術者向けIT研修

- IT基礎研修/Java基礎研修/ITインフラ基礎研修
- システム開発体験研修
- クラウド研修 (AWS/Azure)
- メタバース体験研修/メタバース技術研修
- デジタルツイン研修
- ChatGPT研修 等

セキュリティソリューション

セキュリティ製品の開発・販売

- アクセスログ取得
- 申請・ID管理
- 操作ログ
- ログ蓄積
- ログ監査
- 統合ログ管理 等

顧客のニーズに
合わせた幅広い
ITソリューションの提供



顧客



経営理念

We have dreams.

私達は自立した個人を育て、明確なやりたい事（夢）を持てる集団であり、その明確なやりたい事（夢）が実現できる企業を目指します。更に、夢を持つ多くの社員達とコンピュータテクノロジーを通じて、社会に貢献できる企業でありたいと願っています。

社名に込められた想い

Dreams Infinity System

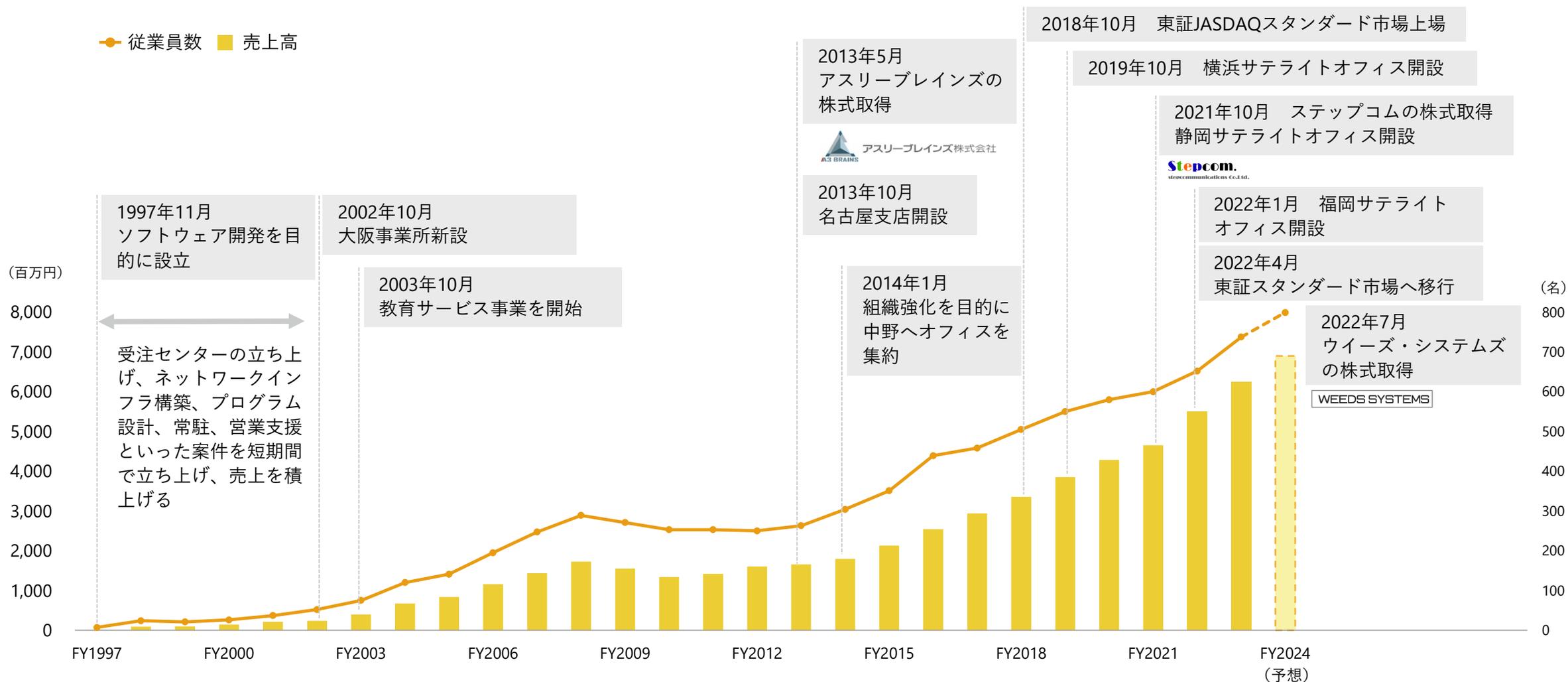
“無限の夢を創造する”

※「Dreams Infinity」の頭文字を取って、D.I.Systemという社名にいたしました。

無限の夢を語り、
現実のものとしていく、
それを提供するのが
私たちのビジネスです



- 1997年に現代表取締役会長が創業者として設立
- 創業時から、知名度の高い企業と取引関係があり、システム開発、ネットワークインフラ構築等の常駐案件を中心に業績を拡大



注釈：第1期および第2期（FY1997~1998）の決算期は12月、第3期（FY1999）以降の決算期は9月となります。

- 静岡サテライトオフィス及び福岡サテライトオフィスの開設により、各地方へ新卒者・中途者採用の拠点を拡大
- ディ・アイ・システムは各拠点及びグループ各社の連携を密に、更なるビジネスの拡大にチャレンジ

ディ・アイ・システムグループ・拠点情報

静岡サテライトオフィス

〒420-0858
静岡県静岡市葵区伝馬町9-11 原科ビル4A

株式会社ステップコム

Stepcom.
stepcommunications Co., Ltd.
子会社化：2021年10月
議決権所有割合：100%



福岡サテライトオフィス

〒812-0012
福岡県福岡市博多区博多駅
中央街8-1JRJP博多ビル3階

※2024年1月に増床移転
福岡事業所に変更

大阪事業所

〒530-0005
大阪府大阪市北区中之島3-6-32
ダイビル本館17F

名古屋支店

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-13-30
名古屋伏見ビル4F

横浜サテライトオフィス

〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい
4-4-2横浜ブルーアベニュー12F

本社

〒164-0001
東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト2F

アスリーブレインズ株式会社



子会社化：2013年5月
議決権所有割合：100%



ウィーズ・システムズ株式会社

WEEDS SYSTEMS

〒107-0062
東京都港区南青山1-1-1
新青山ビル東館10階

子会社化：2022年7月
議決権所有割合：100%



D.I. System



<https://di-system-ir.co.jp/>

上記URLから、当社ホームページのIRサイトをご覧ください。

ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通し等が含まれております。これらの将来の計画や予想数値等は、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想等とは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。